

令和6年度轟町小学校【学校評価】結果・考察の報告

ご協力いただきました学校評価のアンケート結果が、下記のとおりまとまりましたので、その考察とともにお知らせいたします。来年度も、「誰一人取り残さない 一人一人を大切にする教育」を基本理念に、「自ら考え行動し未来に向かってたくましく生きる子供の育成」を学校教育目標に据え、「挨拶と温かい言葉が行き交う楽しい学校」を目指し、全教職員で一人一人の子供の能力を伸ばしていきたいと考えております。今後も、保護者の皆様の声に耳を傾け、さらに充実した教育活動が実践できるように努力して参りますので、引き続きご支援いただきますようお願いいたします。

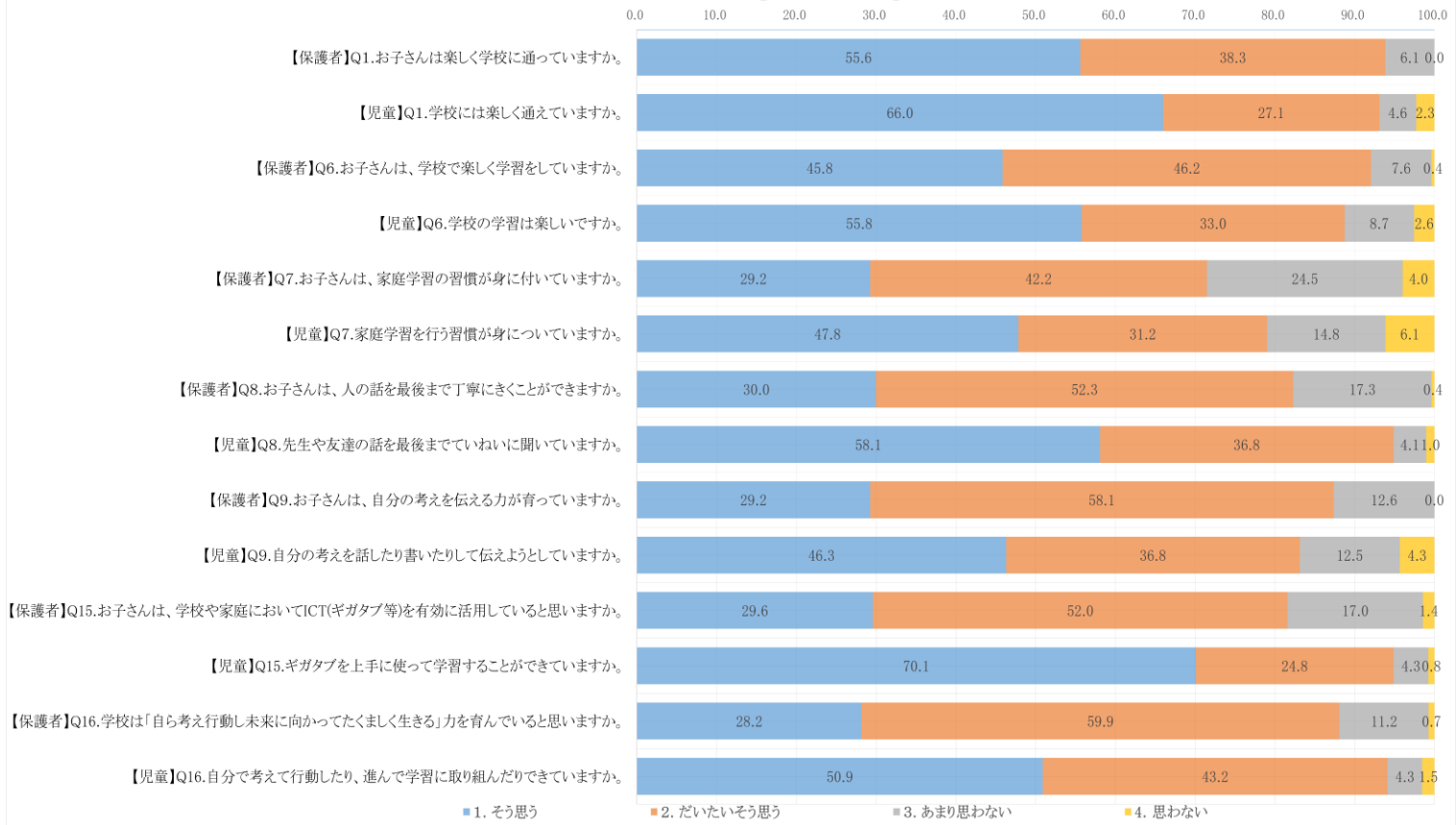
学校教育目標 **自ら考え行動し 未来に向かって たくましく生きる子供の育成**

【知育】 進んで学ぶ子 ～自分で考え判断し主体的に活動する子～

学びの楽しさと確かな学力の定着を図る『わかる授業』 **学びづくり** を 目指します。



R6. 轟町小学校評価後期【保護者・児童】集計



Q1「学校に楽しく通っている」の問いに対して、「そう思う」「少しそう思う」という回答(肯定的回答、以下同様)は、保護者約94%、児童93%と、昨年度に引き続き、学校として有難い数字です。しかしながら、「学びの楽しさ」を児童が感じているかを計る数字、Q6「学校で楽しく学習している」の肯定的回答は89%と昨年度と同様の数値でした。(保護者も昨年度同様の92%)昨年度の「学校評価考察」において、『「誰一人取り残さない教育」を基本理念に掲げている中、Q6における10%の否定的な回答をしている児童に目を向けていく必要がある』と述べました。その具体的な取組の一つとして、児童一人一人の実態や学力に応じた学習支援ができるよう、「学校支援地域本部」の取組の一つに千葉経済短期大学の学習支援ボランティアの学生を積極的に取り入れました。数値としての成果は見られなかったものの、今年度初めて取り組んだ、「学習サポートを必要としているお子さんの個別支援体制」としては手応えを感じています。次年度も、担任と学習支援ボランティアとの連携向上や役割の明確化を図りながら、「わかる授業」から児童の「学びの楽しさ」につなげていきたいと考えます。

Q9「自分の考えを話したり書いたりして伝えている」の問いは、保護者87.3%(昨年度77.8%)、児童83.1%(昨年度81.9%)で、昨年度から大きくポイントが向上しました。今年度、研究教科として取り組んだ体育科をはじめ、様々な教科や場面で積極的に導入しているICT(ギガタブ等)によって、「学び(特に主体的な活動)が楽しい」、「考えを言葉だけでなくギガタブでも伝えられる」と感じる児童が増えたこと、また、児童の主体性を大切にした授業づくりを学校全体で行うとともに、様々な行事や場面において児童自身が役割を担い、大勢の前で発表や活動、活躍することにより、自信をつけた児童が増えたことが要因と考えています。引き続き、取り組んでまいります。



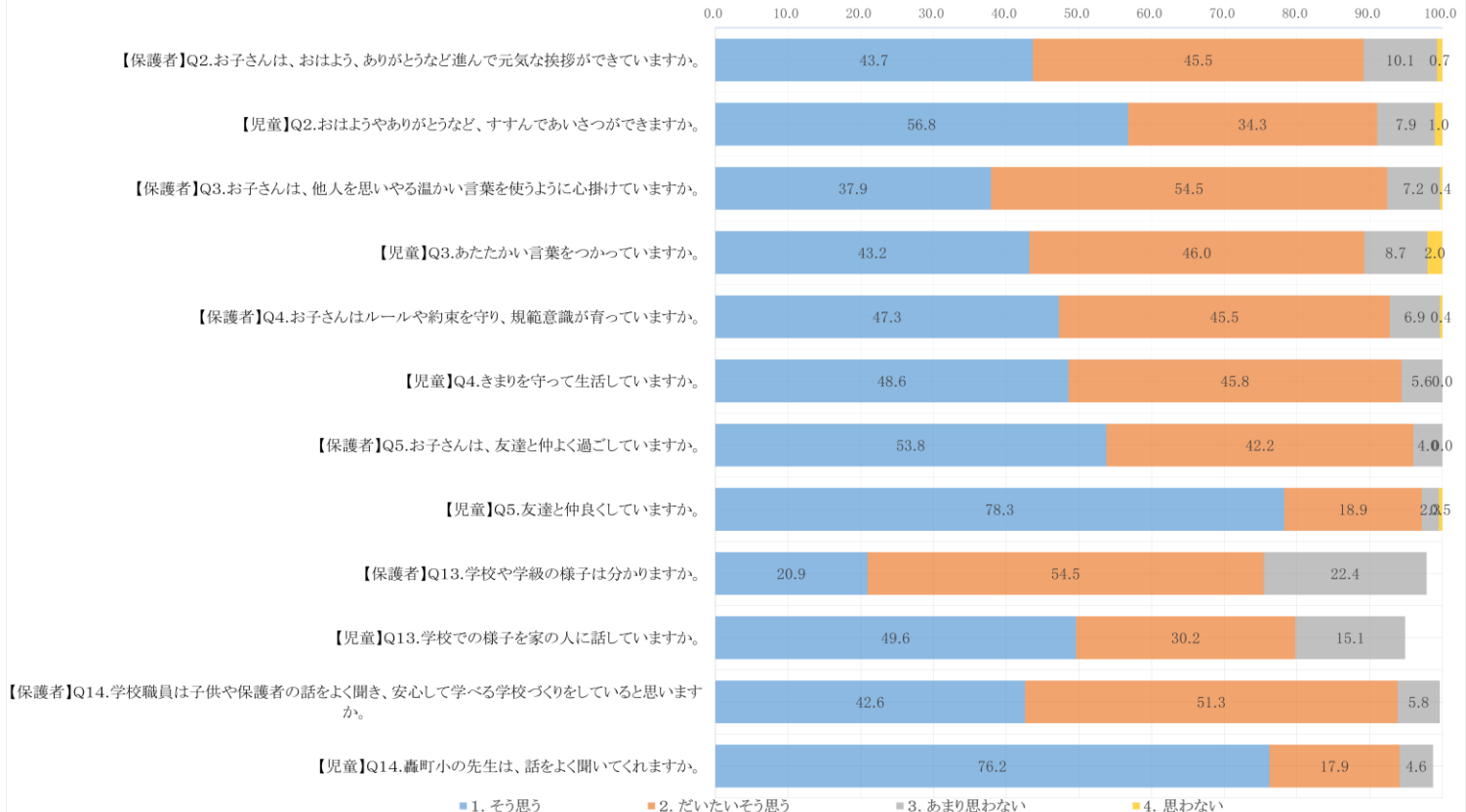
【徳育】 思いやりのある子 ～友達の良さがわかり 思いやりのある子～

笑顔いっぱい『夢広がる学校』心づくり

互いが高め合う『楽しい教室』仲間づくり を 目指します。



R6. 轟町小学校評価(保護者・児童)集計



「挨拶と温かい言葉が行き交う学校」を目指す中、それに係る Q2 と Q3 の質問項目をはじめ、多くの項目で児童・保護者共にほぼ 90%が肯定的回答です。朝の登校時に「自ら進んで」、「笑顔」で挨拶ができる児童が増えたと感じます。本校学校だより「とどろきっ子」3月号でもお伝えしたとおり、挨拶は、「人と人をつなぐ大切なツール」です。学校と児童、そして家庭も含めて「笑顔」でつなぎ合う「挨拶」をこれからも大切に学校づくりを進めてまいります。

昨年に引き続き、Q5「友達と仲よくしている」における肯定的回答の高さが目立ちます(保護者96%、児童97%)。「互いが高め合う『楽しい教室』 仲間づくり」を目指す中、有難い数値と考えます。一方、Q14「先生は話をよく聞いてくれる」の保護者、児童ともに94%が肯定的回答でした。先述の「誰一人取り残さない教育」のためには、この数値をさらに伸ばす必要があります。一人一人の子供の思い、また家庭における心配ごとや考え方を受け止めるために、今年度同様、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどとさらに連携を図りながら、「児童理解」や「家庭状況の把握」に努め、その基づいた適切な指導・支援のもと、「楽しい学校」・「楽しい教室」を目指して参ります。

課題であった Q13「学校や学級の様子がわかる(保護者)」「学校での様子を家の人に話している(児童)」の問いは、肯定的回答は保護者75%と昨年度65%から大幅に増えた結果でした。(児童約80%)昨年度の「学校評価考察」で触れた「ご家庭におけるお子さんと会話ができる時間の確保」への協力をいただけた成果と考えます。また、「すぐーる」を活用した積極的な「情報発信」、「学校だより」や「学年だより」の内容の充実、学習参観や懇談会といった学校主体の行事はもちろんのこと、TSS 主催の活動(草取り大会や新春スポーツフェスタ、バザー等)にも、多くの保護者の皆様に参加・参画していただいたことも、お子さんの様子がわかる機会になったり、家庭における会話のきっかけになったりしたのではないのでしょうか。お忙しい中、学校とお子さんに多くの関心や関わりを持ってくださったことに深く感謝いたします。

なお、ギガタブにおける「発表ノート」や「クラスルーム」を活用しての情報発信につきましては、その効果を職員間で分析するとともに、方法(「すぐーる」の活用等)について、再度検討してまいります。

≪参考≫昨年度(R5 年度)の「学校評価考察」の内容

先日行われた第 3 回学校評議員会の中で、保護者の評議員の方が「自分の子供への話の聞き方について考えている。『学校どうだった?』よりも『〇〇の授業やったらいいね。うまくできた?』と聞くことで、子供が答えやすくなる、と知人から言われ、今実行している。」という意見を頂きました。ご家庭それぞれでお子さんとの会話ができる時間の違いはあるかとは思いますが、ギガタブの情報や「学年だより」、「学校だより」などに掲載されている記事の様子を聞くなどして、ぜひ、お子さんと話す機会を増やしていただきますようお願いいたします。



安心できる『安全な学校』 安全づくり

[illegible]

【保護者 自由記述より】

「学校として、指導の成果や良い点等」(後期)



①学校行事において、いろいろなイベントを実施していただいています。その中で、運営を子供に任せる等、子供の自主性を尊重していただいていると感じます。また、先生が連絡帳に一言コメントを書いてくださり、学校での様子を知ることができて安心します。お忙しい中、ありがとうございます。先日、子供に、学校の良いところはどことどこ？と質問したところ、先生たちがみんな笑顔なところ、という答えがありました。子供たちが笑顔で過ごせるよう、先生方も笑顔で過ごすようにしていただいているのかと、保護者としてうれしい気持ちになりました。

【学校より】：学校の本務は、児童に「力」を身に付けさせることであり、学校教育目標「自ら考え行動し未来に向かってたくましく生きる子供の育成」に向かうこと。そして、その「力」のひとつが、児童の「主体性」「自主性」と考えます。今後も、学校生活はもちろんのこと、あらゆる機会でその力を発揮することができる、そして児童が中心となる学校づくりを、「笑顔」で進めてまいります。

②教務主任や少人数指導の先生、補助で入ってくださる先生方、そして交流級の先生のお陰で課題であるコミュニケーション力が成長し、できることがぐっと増えたと感じる場面が増えました。相手の話を理解し、的を射た会話もできるようになってきて嬉しく思っています。また先生方が根気強く、繰り返し指導して下さることで学習面も伸びていると感じています。来年度は高学年になり新たな課題も増えると思いますが、引き続き、先生方と共に楽しく有意義な学校生活を過ごせるよう、私も親の立場から協力させていただきたいと思っております。

【学校より】：前述の【「知育」進んで学ぶ子】の考察でお示しした内容が、具体的な場面や何よりお子さんの高まりから明らかにしてくださったようなご意見で、大変嬉しく感じます。お子さんの「伝える力」の向上のために、さらなる指導体制の充実を図ってまいります。

③今年は体育指導が手厚く、苦手だった鉄棒や大縄にも積極的に挑戦してみようという気持ちをお子さんも持てたようでした。

④体育科の取り組みがとてもよい。業間休みでも、教師が鉄棒を指導してくれて、子供の目標設定ややる気につながっている。机の上だけでは学べない力を、体育を通して培っているのが分かる。

【学校より】：前述の【「体育」たくましい子】の考察でお伝えしたことに関連しているご意見で、こちらも有難い思いでいっぱいです。机の上では身に付けきれない「たくましく生きる力」を、教師も一緒になって体を動かし、お子さんの「やる気」や「楽しさ」を引き出しながら、身に付けさせていきたいです。

「学校へのご意見・ご要望等」(後期)

⑤来年度から 6 年生の校外学習が修学旅行に変わりますが、とにかく移動時間ばかりが長くて、観光場所をだらだら並んで見て回るだけで、頭に残らないのではと不安に感じています。教員の先生方や保護者の負担も大きいのでは？ 泊3日と長く友達と過ごせて、自然の中で身体を存分に動かし、そして助成金も出る農山村留学の方がメリットは多いのでは？と素人目には思うのですが、なぜ修学旅行なのか教えていただきたいです。

【学校より】：R5、R6 の保護者会等でお伝えしましたが、改めて市教委担当課(教育指導課)からの説明をお伝えします。「6 年生の農山村留学は、平成 17 年度から長野県等で実施が始まりましたが、現在は全校が県内での実施に移行しています。また、宿泊先として訪問地の人々との交流を目的とした民泊も推奨してきましたが、昨今の自然災害や社会情勢、児童の健康面等の配慮から、民泊の実施も減っています。さらに、活動内容も5年生の移動教室と重複がみられることもあります。このような課題を踏まえ、宿泊体験学習の在り方について検討を重ねた結果、令和7年度より最終学年(小6・中3)では修学旅行、その前学年(小5・中2)は自然体験学習の実施と、小学校から中学校までの9年間の宿泊体験学習を体系化することにしました。」学校としても宿泊場所におけるアレルギー対応や移動手段の課題等を明確にしながら準備を進めてまいります。

⑥以前、学校だよりに穴川神社の祭りについて案内が載っていましたが、神社の行事が載っていたことに違和感がありました。地域行事としての案内だったのかもしれませんが、神輿を担ぐという神事の案内だったので、公立学校の宗教的中立性の観点からは記載がやや不適切のように感じました。

【学校より】：説明不足だった点は申し訳ありません。毎年、穴川神社及び穴川町会様より、本校6年生へ「節分祭」の招待をいただいています。舞台から豆まきを「年男、年女」である6年生がさせてもらえる貴重な経験ができるということで、穴川神社と学校側、そして地域教育協議会においても協議した上で、6年生の保護者の方々にご案内(任意参加)しております。6年生だけでなく他学年の児童にも、この日本の伝統文化に触れられる貴重な機会と捉えて、学校だよりに記載いたしました。

⑦時間の都合やいろいろと事情があるかと思いますが、運動会はもう少し達成感や一体感が味わえる競技があるといいなと思います。特に 6 年生は最後なので、クラス対抗の何か(リレーなど)があると最後盛り上がりいい思い出になるのかなと思いました。

【学校より】昨今の気象状況から、全日(一日)開催が難しい点、そして①でも述べましたが、スポーツフェスタを児童一人一人の「力」を身に付けさせる機会、さらに、本校の「学校目標」と紐づく行事とするために、児童中心の主体的取組にチャレンジした今年度の「スポーツフェスタ」を、今後も目指していきたいと考えます。昨年度の「学校評価考察」でもお伝えしましたが、従前の運動会から、「子供が主体的に考え、創り上げていく」スポーツフェスタへの転換についてのご理解を、何卒よろしくお願い申し上げます。

⑧「かがやけ とどろきっ子」が今年度なかったのはとても残念でした。来年度は復活してほしいです。

【学校より】今年度は11月に「千葉市小中学校体育連盟指定公開研究会」のため、実施しませんでした。来年度は実施する予定です。児童個々の興味や関心に応じながら、「調べたりまとめたり、伝えたりできる力」を伸ばす機会として、計画的に取り組んでまいります。

⑨下校時刻をきちんと守ってほしい。遅すぎるのはその後の用事があつたりすると大変困ります。

【学校より】大変申し訳ございません。特に今年度から「C 日課」が加わり、ご家庭における下校時刻の確認も大変だったかと思えます。児童の下校時の安全のためにも、次年度は、そのようなことがないように努めてまいります。

その他、数多くの学校の良い点やご意見をいただきありがとうございました。すべての内容は全職員で共有し、励みにしたり、改善点や課題が明確にしたりする等と、有効に扱わせていただいております。

来年度の学校評価へのご協力もどうぞよろしくお願いいたします。